

Albirex-RT

アルビレックス・レーシング・チーム

PRESS RELEASE

2016/4/26

スーパーFJ 東北シリーズ第1・2戦

CAR No.35

Beyond

丸山 友輝

アルビビヨンド D→R GIA ED

CAR No.36

M.I.D Japan Inc.
Mitsui Impress Development

大類 康幸

アルビ第一ホテル(株)東北機工

CAR No.37

**MAKE
WINNER**

横江 大

アルビメーカーウィナーED

**大類選手Rd.1優勝、Rd.2 2位表彰台！！
丸山選手がRd.1で3位表彰台獲得！！**



4月24日(日)予選・決勝

スポーツランド菅生 1 LAP=3.704km

第1戦決勝結果：大類選手優勝 丸山選手3位表彰台 横江選手5位

第2戦決勝結果：大類選手2位表彰台 横江選手5位 丸山選手6位

■11時00分 Rd.1 決勝スタート、14時10分 Rd.2 決勝スタート

天候：曇り コース：ドライ

予選2番手の大類選手が終始トップの KAMIKAZE 選手にプレッシャーをかけ続け、迎えた8周目に KAMIKAZE 選手が痛恨の単独スピン。大類選手が先頭に立ちそのままチェッカー。4年振スーパーFJ参戦で自身初優勝を飾った。

丸山選手は終始単独で3位を走行、昨年の東北シリーズ最終戦に続き3位表彰台を獲得した。横江選手は5位でフィニッシュ。



第2戦は丸山選手が予選で4番手タイムをマークしたが、ピットロードの速度違反によりペナルティを受け、最後尾スタートとなった。

レースはポールの KAMIKAZE 選手が終始リード、そのまま逃げ切り、大類選手が2位で続き2戦連続表彰台を獲得した。横江選手は5位フィニッシュ、最後尾からの巻き返しを図った丸山選手だが、11周目に2つ目の SP コーナーでクラッシュ。走行不能となったが規定周回数は満たしていたためリザルトは6位となった。



○丸山選手コメント

1 レース目で表彰台に立てたのはよかったのですが、2 レース目が残念でした。自分の課題も見えているのでクリアして次は表彰台の真ん中に立てるように頑張ります。



○大類選手コメント

久しぶりのレースでしたが開幕戦を優勝という形で終わられて良かったです。これからどんどんタイムアップしてシリーズチャンピオン獲得に向けて頑張っていきます。



○横江選手コメント

今までの車と違う車両ということで、なかなか特性をつかみ切れないウィークになりました。第3戦まで少し時間があるので、できるだけ練習して次のレースに備えたいと思います。

○佐藤監督代行コメント

大類選手は初の菅生でコンパウンドの変わったタイヤも初めて履いてのウィークでしたが、初戦で優勝でき、2 戦目も2位を獲ることができました。自分の課題がまだ残っているのでそれをものにして



今後更なるタイムアップを期待したいです。

横江選手は新しく乗り換えた車ということもあり、車の特性をつかみきれないところがありますが、安定した走りをしようとするので次戦は表彰台を狙えるよう頑張ってもらいたいです。

丸山選手は乗り方に粗さが目立ちますがタイム的には表彰台を狙えるポテンシャルはあるので、それを生かしつつ自分の課題を乗り越えて次戦も表彰台に立てるよう頑張ってもらいたいです。

総じて開幕戦で優勝を飾ることができ、いいスタートが切れました。チームとして2年連続シリーズチャンピオンを獲るべく努力して参りますので引き続きご声援の程宜しくお願いします。



・ Zip Auto ・ 東栄ボディー ・ 堀モータース ・ 関根車体 ・ ときや旅館